

(様式 1-3)

新地町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	72	事業名	釣師地区防災緑地管理施設整備事業		事業番号	◆D-22-2-3
交付団体	新地町		事業実施主体 (直接/間接)		新地町 (直接)	
総交付対象事業費	0 (千円)		全体事業費		66,027 (千円)	
事業概要						
<p>事業実施中の D-22-2 都市公園事業 (釣師地区防災緑地) における利用者の安全確保、利用促進等のため、防災緑地内における各種サイン (園名サイン、案内サイン等) を釣師防災緑地の整備計画に基づき整備を行う。</p> <p>また、防災緑地を維持管理するため車両や機材の保管及び作業員の待機所を兼ね備えた倉庫の整備を行う。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 10 月 11 日)</p> <p>既配分予算の流用により充当することで、効率的な予算執行を図るため、D-23-2 新地町作田東地区防災集団移転促進事業 (作田東地区) より 66,027 千円 (国費: H23 予算 52,821 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 66,027 千円 (国費: 52,821 千円) に増額。</p>						
当面の事業概要						
<p><平成 30 年度></p> <p>サイン設置工、倉庫整備工</p> <p><令和元年度></p> <p>サイン設置工</p>						
東日本大震災の被害との関係						
<p>津波による甚大な被害を受けた釣師集落のほぼ全域が災害危険区域の指定 (H23. 12. 27 告示) を受けており、集団移転事業が進められている。この跡地を活用し防災緑地の整備を進める。</p> <p>新地町「防災のまちづくり」におけるインフラ整備の基本的な考え方は、防災拠点となる役場と国道 6 号を浸水から守ることとしているため、海岸堤防及び防災緑地を主たる津波防御施設としてシミュレーションを行い、本事業の規模を計画している。</p>						
関連する災害復旧事業の概要						
(なし)						
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。						
関連する基幹事業						
事業番号	D-22-2					
事業名	都市公園事業 (釣師地区防災緑地) ※施設費					
交付団体	新地町					
基幹事業との関連性						
<p>平成 31 年度に予定される釣師防災緑地の部分開園に備えては、利用者の安全確保、円滑な利用の促進等に向け、緑地及び緑地内の各種施設の利用案内や誘導等のための案内表示板の設置が不可欠である。また、緑地の維持管理で必要な倉庫を効果促進事業において整備を行う。</p>						